

問1	日本の司法制度において、2009年から導入された裁判員制度の対象となる裁判として適切なものはどれですか。 <small>（2023年 青森県公立入試 類似）</small>			
	1. 一番の判決に不服がある場合に行われる、高等裁判所での控訴審	2. 非行少年の更生を目的として、家庭裁判所で行われる審判	3. 土地の境界や金銭の貸し借りなどの争いを解決するための民事裁判	4. 殺人や強盗致死傷などの重大な犯罪について行われる第一審の刑事裁判
問2	最高裁判所は、法律や内閣の行政処分などが憲法に適合しているかどうかを判断する最終的な権限を有しています。この権限の名称と、最高裁判所の通称の正しい組み合わせを選びなさい。 <small>（2021年 宮崎県公立入試 類似）</small>			
	1. 違憲審査権 — 憲法の番人	2. 弾劾裁判 — 全体の奉仕者	3. 弾劾裁判 — 憲法の番人	4. 違憲審査権 — 国権の最高機関
問3	刑事裁判の法廷では、裁判官の右側に検察官が、左側に被告人とその権利を守る弁護人が着席します。被告人が経済的な事情で弁護人を依頼できない場合に、国費によって弁護人が選任される制度について、その目的として最も適切なものはどれですか。 <small>（2021年 滋賀県公立入試 類似）</small>			
	1. 被告人に十分な防御の機会を与え、裁判における公正さを確保するため	2. 検察官による起訴が正当であったかどうかを第三者が客観的に判断するため	3. 裁判の審理を迅速に進め、判決が出るまでの期間を短縮するため	4. 一般の国民が裁判に参加し、市民の感覚を裁判の内容に反映させるため
問4	モンテスキューが提唱し、現代の多くの民主主義国家で採用されている「三権分立」の目的として、最も適切な説明はどれか。 <small>（2017年 静岡県公立入試 類似）</small>			
	1. 国王や特定の指導者が強力なリーダーシップを発揮し、迅速に意思決定を行うため	2. 一つの機関に権力が集中して乱用されるのを防ぎ、国民の自由や権利を保障するため	3. 行政の権限を司法よりも強くすることで、社会の秩序を厳格に維持するため	4. すべての国民が直接話し合いに参加して、国の法律を直接決定できるようにするため
問5	日本国憲法に定められた「最高裁判所裁判官の国民審査」が行われる時期として、正しいものはどれですか。 <small>（2024年 徳島県公立入試 類似）</small>			
	1. 衆議院議員総選挙の際に行われる	2. 内閣総理大臣が指名された直後に行われる	3. 参議院議員通常選挙の際に行われる	4. 最高裁判所長官が任命された際に行われる
問6	常会（通常国会）の役割や仕組みについて説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 <small>（2016年 大阪府公立入試 類似）</small>			
	1. 内閣または、いずれかの議院の総議員の4分の1以上の要求があったときに、150日間の会期で召集される。	2. 衆議院の解散に伴う総選挙のあと、30日以内に召集され、内閣総理大臣の指名を行う。	3. 参議院独自の機能であり、衆議院が解散されている間に、国会の議決が必要な緊急の事態に対処する。	4. 主な役割は翌年度の予算案を審議・決定することであり、会期は1回に限り延長することができる。
問7	予算の議決や条約の承認などで、両院の意見が一致しない場合に衆議院の議決が優先される「衆議院の優越」が認められています。衆議院に強い権限が与えられている理由として、最も適切なものはどれですか。 <small>（2016年 北海道公立入試 類似）</small>			
	1. 内閣の構成員である国務大臣を多く選出しているから	2. 任期が短く解散もあり、国民の意思を反映しやすいから	3. 議員定数が少なく、専門的な知識を持つ議員が多いから	4. 任期が長く解散がないため、安定した審議ができるから
問8	近代的な民主政治において、国家権力を「立法・行政・司法」の三つの機関に分け、それぞれを独立した組織に担当させる「三権分立」の仕組みをとる最も重要な目的は何ですか。 <small>（2022年 奈良県公立入試 類似）</small>			
	1. 司法の判断を立法や行政の関与から完全に遮断し、国民の多数決によらない政治を実現するため	2. 三つの機関が同一の目的のもとに一体となって行動し、独裁政治をより強固なものにするため	3. 行政権の権限を他の二権よりも強くすることで、国の意思決定を迅速かつ効率的に行うため	4. 国家権力の集中を防ぎ、互いに抑制と均衡を保たせることで、国民の人権を守るため
問9	日本の国会を構成する二つの議院のうち、参議院の議員に定められている任期と、その改選の仕組みとして正しいものはどれですか。 <small>（2025年 鹿児島県公立入試 類似）</small>			
	1. 任期は6年で、3年ごとに議員の半数を改選する	2. 任期は4年で、2年ごとに議員の半数を改選する	3. 任期は6年で、6年ごとに全議員を一斉に改選する	4. 任期は4年で、衆議院の解散が行われない限りその期間を務める
問10	日本における裁判制度のうち、民事裁判の仕組みとその目的について説明した文として最も適切なものはどれですか。 <small>（2018年 千葉県公立入試 類似）</small>			
	1. 犯罪の有無を判断するための裁判であり、法律の専門家である「検察官」が、訴えられた「被告」を厳しく追及する。	2. 個人の権利や利益を守るための裁判であり、訴えを起こした「原告」と訴えられた「被告」が、対等な立場で互いの主張をぶつけ合う。	3. 社会の秩序を維持するための裁判であり、被害者が「原告」となって、罪を犯した疑いのある「被告」の刑罰を決定する。	4. 個人の自由を制限するための裁判であり、裁判所が選んだ「弁護人」が、不利益を被った「原告」のために裁判を主導する。
問11	憲法が定める権力分立の仕組みでは、特定の権力が肥大化しないよう相互に抑制し合っています。国会から裁判所へ向けられた「裁判官を罷免する権限」に基づき実施される制度について、その内容と目的を正しく説明しているものはどれですか。 <small>（2018年 三重県公立入試 類似）</small>			
	1. 国会議員が裁判官を裁く裁判所を設置し、裁判官にふさわしくない非行があった場合にその職を解く。	2. 内閣が裁判官の任命権行使することで、司法の公正さを保つために不適切な人物を除外する。	3. 衆議院議員総選挙の際に、国民が直接投票することによって、不適格な裁判官を罷免する。	4. 最高裁判所が自ら下級裁判所の裁判官を調査し、職務を怠った者を罷免する。
問12	衆議院の総選挙後に行われる国会の本会議において、内閣総理大臣の指名で衆議院と参議院が異なる人物を指名し、両院協議会を開いても意見が一致しなかった場合、どのような仕組みによって指名が確定しますか。 <small>（2026年 富山県公立入試 類似）</small>			
	1. 意見が一致するまで、両議院で指名の議決を無制限に繰り返さなければならない。	2. 内閣総理大臣の指名に関しては衆議院の優越が認められないため、その人物は選出されない。	3. 参議院の議決が優先され、参議院が指名した人物が国会の議決となる。	4. 衆議院の優越に基づき、衆議院の議決が国会の議決となる。
問13	日本の予算が成立するまでのプロセスとその仕組みに関する説明として、最も適切なものはどれですか。 <small>（2024年 奈良県公立入試 類似）</small>			
	1. 内閣が予算案を作成し、国会に提出して審議と議決を受ける。	2. 裁判所が予算の内容が憲法に違反していないかを事前に審査し、議決を行う。	3. 国会が予算案を作成し、内閣がその内容を執行するかどうかを判断する。	4. 日本銀行が経済状況に基づき予算を決定し、国会が形式的に承認する。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 殺人や強盗致死傷などの重大な犯罪について行われる第一審の刑事裁判	裁判員制度は、国民が司法に参加することで司法に対する理解と信頼を深めることを目的とした制度です。対象となるのは、殺人や強盗致死傷といった社会的な影響が極めて大きい重大な刑事裁判の第一審（地方裁判所）に限られています。民事裁判や、二審にあたる高等裁判所での裁判、あるいは家庭裁判所での審判は対象に含まれません。
問2	答え 1 違憲審査権 — 憲法の番人	最高裁判所は、国会が制定した法律や政府の行政処分が憲法に違反していないかを決定する最終的な「違憲審査権」を持っています。憲法を守る重要な役割を果たしていることから、最高裁判所は「憲法の番人」と呼ばれています。なお、「国権の最高機関」は国会、「全体の奉仕者」は公務員を意味します。
問3	答え 1 被告人に十分な防御の機会を与え、裁判における公正さを確保するため	刑事裁判は、国家権力を持つ検察官が被告人の罪を追及する場です。法律の専門知識を持たない被告人が一人で戦うことは困難であるため、国が弁護人の費用を負担する制度を設けることで、被告人の防御権を実質的に保障し、不当な判決を防ぐ役割を果たしています。なお、国民が裁判に参加するのは裁判員制度の説明です。
問4	答え 2 一つの機関に権力が集中して乱用されるのを防ぎ、国民の自由や権利を保障するため	権力が一点に集中すると、個人の自由が脅かされる独裁的な政治を招く恐れがあります。そのため、権力をあえて分離させ、それぞれの機関がチェック・アンド・バランス（抑制と均衡）を働かせることが、民主政治において極めて重要であると考えられています。
問5	答え 1 衆議院議員総選挙の際に行われる	最高裁判所の裁判官は、任命された後、初めて行われる衆議院議員総選挙の際に国民の審査を受けます。その後は、10年を経過した後で最初に行われる衆議院議員総選挙の際、さらに審査を受ける仕組みになっています。これは、主権者である国民が、司法の最高責任者である裁判官が職務にふさわしいかどうかを直接判断する機会を設けるためです。
問6	答え 4 主な役割は翌年度の予算案を審議・決定することであり、会期は1回に限り延長することができる。	常会は翌年度の予算を成立させることが最大の目的であり、原則として毎年1月に召集されます。150日間の会期で足りない場合は1回まで延長が認められています。内閣や議員の要求で開かれるのは臨時会、衆議院解散後の総選挙後に開かれるのは特別会、衆議院解散中に開かれるのは参議院の緊急集会であり、それぞれ常会とは性質が異なります。
問7	答え 2 任期が短く解散もあり、国民の意思を反映しやすいから	衆議院は参議院よりも任期が短く、解散制度もあるため、選挙を通じてその時々国民の意思（世論）をより忠実に反映していると考えられています。これが優越的な権限の根拠となっています。
問8	答え 4 国家権力の集中を防ぎ、互いに抑制と均衡を保たせることで、国民の人権を守るため	権力が特定の個人や機関に集中すると、その力が濫用されて独裁政治が招かれ、国民の自由や権利が侵害される危険性が高まります。そのため、国会（立法）、内閣（行政）、裁判所（司法）の三つが互いに独立し、監視・チェックし合う「抑制と均衡（チェック・アンド・バランス）」の関係を築くことで、権力の暴走を防ぎ、国民の基本的人権を保障しています。
問9	答え 1 任期は6年で、3年ごとに議員の半数を改選する	参議院は衆議院と異なり、解散という制度がありません。そのため、議員は6年間の任期を全うすることが保障されています。また、議院としての継続性を保ち、極端な情勢の変化に左右されすぎず安定した審議を行うために、3年ごとに定数の半分ずつ選挙で入れ替える仕組みが採られています。
問10	答え 2 個人の権利や利益を守るための裁判であり、訴えを起こした「原告」と訴えられた「被告」が、対等な立場で互いの主張をぶつけ合う。	民事裁判の主な目的は、私人間（個人や企業など）のトラブルを法に基づいて解決し、個人の権利や利益を守ることにあります。そのため、裁判は「原告」と「被告」という対等な当事者同士の争いとして進められます。一方、特定の犯罪に対して国家が刑罰を科すかどうかを判断するのは「刑事裁判」であり、そこでは検察官が被告人を起訴する形式がとられます。
問11	答え 1 国会議員が裁判官を裁く裁判所を設置し、裁判官にふさわしくない非行があった場合にその職を解く。	裁判官の弾劾裁判は、衆議院と参議院の議員各7名、計14名で構成される裁判官弾劾裁判所で行われます。この制度の目的は、司法の独立を守りつつも、著しく不適切な行為をした裁判官を民主的な手続き（立法権による抑制）によって排除することにあります。国民審査は主権者である国民によるチェック、長官の指名や裁判官の任命は内閣（行政権）によるチェックであり、それぞれ主体が異なります。
問12	答え 4 衆議院の優越に基づき、衆議院の議決が国会の議決となる。	内閣総理大臣の指名は「衆議院の優越」が認められている事項の一つです。衆議院と参議院で異なる指名がなされた場合、必ず両院協議会を開かなければなりません。そこで意見が一致しないときや、参議院が衆議院の議決後10日以内に指名の議決を行わないときは、衆議院の議決が国会の議決となります。これは、行政の長を速やかに決定し、政治の空白を避けるための制度的仕組みです。
問13	答え 1 内閣が予算案を作成し、国会に提出して審議と議決を受ける。	予算の作成は、実際に政治（行政）を運営する責任を負う内閣が行います。しかし、その内容が国民の意思を反映しているかをチェックし、正式な国の決定とするために、国会での審議と議決が必要不可欠となります。これによって行政に対する民主的な統制が行われています。